



Influenza at the human-animal interface

動物由来インフルエンザ情報

2013年3月12日現在の概要と評価（2013年3月15日更新）

鳥インフルエンザ（A/H5N1）ウイルスによるヒトの感染症と関連した動物衛生事象

2003年から2013年3月12日までに、ヒトの鳥インフルエンザA（H5N1）ウイルス感染症で622例の検査確定症例が15カ国から公式にWHOに報告されました。うち371例は死亡例です。

2013年2月15日の最終更新以降、新規2例のヒト・インフルエンザA型（H5N1）ウイルス感染症の検査確定症例（2例とも死亡例）が、カンボジアからWHOに報告されました。中国は以前に報告したヒトの症例で、2例の死亡を報告しました。

2013年の年始以降、カンボジア政府は、インフルエンザA（H5N1）ウイルス感染症で9例の新しいヒトの症例（8例は死亡例）を報告しました。これらの症例はすべて南カンボジアにある5つの州の住民です。これらの症例は、疫学的に関係しているようには思えませんが、殆どは村で病気の家禽との接触がありました。症例から分離されたクレード1.1ウイルスは、地域で家禽から分離されたこれらのウイルスと非常によく似ています。これらの症例周辺の調査で、新たな症例は発見されませんでした。このことは、ヒト-ヒト感染よりもむしろ、感染した家禽や汚染された環境への暴露による散発的な感染症であることを示しています。A（H5N1）ウイルスは、カンボジアでは疫学的に家禽に循環していることを示しており、したがって、追加の散発的なヒトの症例が起こるかもしれません。

表1 鳥インフルエンザA（H5N1）ウイルス感染症のヒトの確定症例
（2013年2月13日～3月12日）

発生日	発生日	年齢	性別	発症日	入院日	対症治療開始日	死亡日	暴露源
カンボジア	Kampot	20ヶ月	男性	6/2/2013	18/2/2013	非適用	19/2/2013	病気で死んだ家禽
"	Kampong Cham	35才	男性	8/2/2013	13/2/2013	13/2/2013	25/2/2013	

鳥インフルエンザA（H5N1）ウイルスの公衆衛生リスク評価

絶えずインフルエンザウイルスは家禽を循環しており、ヒトの症例の散発的な感染症例や小規模の集団発生は、汚染された環境や家庭で飼育している感染家禽に暴露される人々に特に可能性があります。しかし、現在、このH5N1ウイルスは人々に簡単には感染しません。それ故に、このウイルスが地域社会への拡散リスクは低いと思います。したがって、このウイルスに関連した公衆衛生上のリスクは変わっていません。

ヒトの季節性インフルエンザウイルスを除くインフルエンザウイルスによるヒトの感染症 A（H3N2）変異型ウイルス感染症

インフルエンザA（H3N2）_v（変異株）ウイルス感染症の新しいヒトの症例は、米国や周辺国からは報告されませんでした。

季節性以外のインフルエンザウイルスの総合的公衆衛生リスク評価

米国では変異型インフルエンザA（H3N2）ウイルスはブタ集団に循環しているので、更なるヒトの症例や小さな集団発生が予測されます。状況とウイルスの継続した緻密な監視が必要です。これら以外のインフルエンザウイルスも動物集団に循環しているので、ヒトが暴露されれば、インフルエンザウイルスによる感染症の散発的なヒトの症例や小さな集団発生は米国やどこでも発生する恐れがあります。

潜在的公衆衛生の脅威である高病原性鳥インフルエンザウイルスの動物での集団発生

全体として、動物のインフルエンザの集団発生の公式報告は、過去数ヶ月間に増加しました。この季節

パターンは、北半球での冬の始まりを想定させます。

インフルエンザウイルスが絶え間なく進化する性質があるため、WHOは動物やヒトでのインフルエンザウイルスの世界的監視調査の重要性を強調し続けており、日常のインフルエンザ発生動向調査を強化するよう、すべての加盟国に依頼しています。季節性以外のインフルエンザウイルスによるすべてのヒトの感染症は、国際保健規則（2005）に従い、WHOに報告しなければなりません。

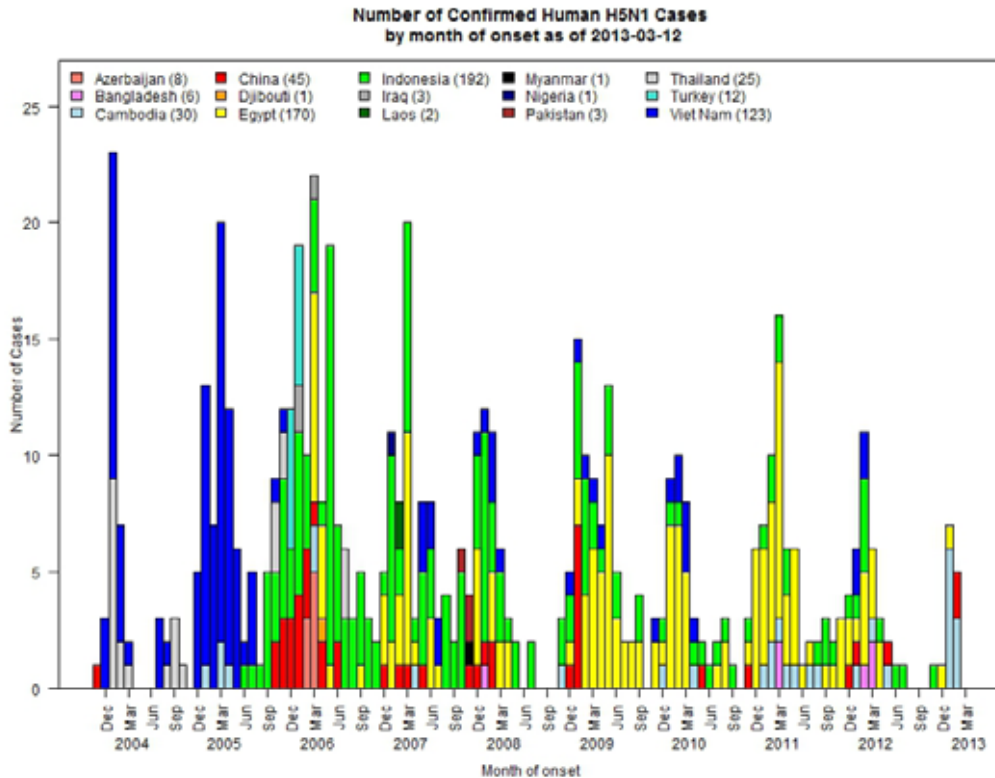


図1 国別・発症月別ヒトの鳥インフルエンザH5N1症例の疫学統計

Areas with confirmed human cases for avian influenza A(H5N1) reported to WHO, 2013- to-date*.



*All dates refer to onset of illness
Data as of 12 March 2013
Source: WHO/GIP

図2 2013年のヒトの鳥インフルエンザH5N1症例の発生地

平成 25 年（2013 年）3 月 15 日

滋賀県衛生科学センター
健康危機管理情報センター 仮設